

授業科目 在宅看護概論	区分・教育内容 統合分野 在宅看護論		
授業担当者 奥山 真寿美 (専任教員)	開講時期 前期	単位 2 単位	時間数 30 時間
授業の目的 在宅で療養する人々とその家族の特徴を理解し、看護活動を展開するための基礎的知識を養う。 授業の目標 1. 在宅看護の目的と基本理念が理解できる。 2. 在宅療養者と家族の特徴が理解できる。 3. 在宅療養を支える看護を理解し、看護師の役割を考えることができる。			
授業概要 在宅看護の対象は年齢別、疾患別、症状別という枠組みを超えて、生活の場で療養しているすべての人々とその家族である。療養者と家族の特徴を知り、在宅における看護師の基本姿勢、倫理、安全管理等について学習する。在宅看護は保健医療の仕組みや制度等が深く関わっているため、これまで学生の皆さんがすでに学んでいる講義等と結びつけながら理解してほしい。 授業計画 (進め方) 1 回目 在宅看護の概念 2 回目 在宅ケアと在宅看護 3 回目 在宅療養者とは 4・5 回目 家族とは 6 回目 在宅看護の歴史と訪問看護 7 回目 ケアマネジメントと介護保険 (グループワーク) 8 回目 社会資源の活用 (グループワーク) 9 回目 在宅ケアを支える訪問看護ステーション 10・11 回目 パンフレット作成 12 回目 療養の場の移行に伴う看護 13 回目 高齢者虐待 14・15 回目 在宅看護における安全管理			
テキスト ナーシンググラフィカ 地域療養を支えるケア メディカ出版			
指定図書・参考書 公衆衛生がみえる 2018-2019 第3版 メディックメディア 国民衛生の動向 2018/2019 一般財団法人厚生労働統計協会			
評価の方法 筆記試験 60%、課題レポート 30%、グループワーク 10%			